

### 3 埼玉県学力・学習状況調査を活用した実践事例

「コバトンのびのびシートを活用して、学力に課題のある児童生徒について学力や学習の状況を把握し、効果的な指導方法を話し合い、共有する。」

【A小学校の例】

#### コバトンのびのびシート

教科 (国語・算数)	年度						
	年度	正答率	レベル	伸び	話す聞く書く	読む	
国語	R2	63.3	6-B	3 (2)	25.0	88.9	58.8
算数	R2	40.3	5-C	0 (2)	36.4	42.9	28.6

  

項目	内容		H31	変化
	AL			
学習方法(学習方略)				
柔軟的方略	学習の進め方を自分の状況に合わせて柔軟に変更していく活動	3.1	0.3	
プランニング方略	計画的に学習に取り組む活動	2.0	-0.2	
作業方略	ノートに書いたり、声に出したりといった作業を中心に学習を進める活動	2.8	0.3	
人的リソース方略	すぐにやり方や答えを聞かずに学習を進める活動	1.6	0.3	
認知的方略	より自分の理解度を深めるような学習活動	2.6	0.1	
努力調整方略	「苦手」等の感情をコントロールして学習への意欲を高める活動	3.1	0.3	
基礎能力	やり抜く力	物事に対し情熱を持って、粘り強く取り組むことができる力	2.7	0.2

  

**学習方略と非認知能力の変化**

**学力レベルの変化**

【年・組・氏名】 6年1組1番 ○○ ○○

実力テスト(国語)	実力テスト(算数)					
	話す	聞く	書く	読む	漢字	その他
全国平均	78	87	40	87	89	90
埼玉県	67	55	40	45	70	40
〇〇クラス	88	68	56	80	88	97
〇〇クラス	70	66	40	50	80	45

  

伸ばしたいところ	
国語	<input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 漢字 <input type="checkbox"/> 言葉のきまり
算数	<input type="checkbox"/> 分数の計算 <input type="checkbox"/> 小数や分数の四則計算の定義と活用 <input type="checkbox"/> 面積 <input type="checkbox"/> 図形 <input type="checkbox"/> 対称な図形 <input type="checkbox"/> 比 <input type="checkbox"/> 比例と反比例 <input type="checkbox"/> 文字を用いた式 <input type="checkbox"/> 資料の調べ方 <input type="checkbox"/> 起り得る場合 <input type="checkbox"/> その他(図形や文章問題を解くことが苦手)
学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 積極的に発表する <input type="checkbox"/> グループなどの話し合い活動時に積極的に発言する <input type="checkbox"/> 最後まで粘り強く取り組む <input type="checkbox"/> 宿題を忘れずにやる <input type="checkbox"/> 様々な考え方を表現しようとする <input type="checkbox"/> はいと返事をする <input type="checkbox"/> 人の話をしっかりと聞く <input type="checkbox"/> ノートをきちんととる <input type="checkbox"/> 提出物の期限を守る <input type="checkbox"/> 学習で使うものを忘れずに用意する <input type="checkbox"/> 友達と協力して学習に取り組む <input type="checkbox"/> 一人で集中して学習に取り組む <input type="checkbox"/> 学習用具の整理整頓を <input type="checkbox"/> 一人で行う <input type="checkbox"/> 時間を守る <input type="checkbox"/> その他(物事をあきらめよう)

  

書くことが苦手で、すらすらと文章を書くことができない。そのため、作文を書くときには、構成がうまくたてられるように、事前に作文メモを作成させてから、作文を書くようにさせた。今後、作文メモを作成しなくても、自分で構成を組み立てて書くことができるように支援していく必要がある。

全体的に算数を苦手としている。特に図形や文章問題に苦手意識があるため、見ただけですぐにきらめてしまう。そのため、問題を理解しやすく具体物を使ったり、図で表したり、ヒントカードを渡したりして、最後まで一人で行えるように支援した。今後、たくさん問題を解かせ、自信を付けさせることが必要である。

苦手なこともあきらめずに最後までやるように、励ましながら支援した。今後たくさん場面であらゆることをして、

#### のびのびシートから先生の眩き

〇〇さん、図形の分野が弱いよね・・・どうしたらいいかしら？

#### 研修会や普段の職員室で

今までに習った図形の復習をモジュールステップで徹底的に！

〇〇さんの図形の分野を伸ばすにはどのような指導をしたらいいですか。

私も、授業でそうしてみよう

図形の角の大きさに色を塗って見せるとはっきりと分かると思うよ。

図形の分野のときには、具体物を準備するといいわよ！

#### 【他にも・・・コバトンのびのびシートから見えてくること】

- ①国語の「話す・聞く・書く」の領域が弱い。
- ②「プランニング方略」の数値が昨年度より下がっている。
- ③「柔軟的方略」「努力調整方略」などが順調に伸びている。
- ④「将来の夢や目標」は、どちらかと言えば持っていない。
- ⑤家庭学習の時間が、30分～1時間以内である。
- ⑥家の人とあまり話をしていない。

#### 【具体的な支援】

- ・授業中での支援
- ・授業外での支援
- ・学校行事等での支援
- ・部活動での支援
- ・家庭と連携しての支援 など



大切なことは、教職員で、「コバトンのびのびシート」をもとに、よりよい指導方法について話し合いをし、それをみんなで共有することだよ。